

# はじめ新報

Vol. 26

【編集・発行】  
船田はじめ事務所  
〒320-0047  
栃木県宇都宮市一の沢1-2-6  
TEL 028-666-8735  
FAX 028-666-8736  
URL <http://www.funada.org/>

**皆様にはお健やかに新春を迎えられ、慶賀に堪えませぬ。  
いのしし年の今年は様々な波乱要素が控えています、今年もどうぞよろしくお願いいたします。**



## 平成から新しい時代へ

今年天皇陛下の御退位と、新天皇の即位に関する行事が目白押しです。昭和から平成に替わる三十年前は、哀しみの中で過ぎた記憶がありますが、今回は喜びの中で過ぎることを嬉しく思います。光格天皇以来二百年ぶりの生前退位（譲位）ということですが、これを選択肢として皇室典範本則に明記することも考えるべきです。新しい元号については有識者間で極秘に進められているようですが、明るく前向きで、誰もが親しめる平易な漢字二文字であることを願っています。

## 好景気の維持に腐心

最近の経営者アンケートによると、今年の経済見通しは上半期はまずまずですが、下半期は減速するのではないかとという観測が増えました。こうした中、いよいよ十月に消費税が十パーセントに引き上げら

れますが、これによる消費の落ち込みを防ぐため、複数税率への的確な対応や、キャッシュレス決済の際の消費者還元に向けての準備を、怠りなく進めて参ります。またTPPイレブンや日欧EPAの発効に伴う、自由貿易圏の拡大の恩恵を国内経済に的確に反映させるとともに、米中貿易戦争の混乱を最小限に食い止めるよう、全力を尽くします。

さらに国内の人手不足は大変深刻であり、これを少しでも改善するため、四月からは新たな外国人材の受け入れを開始します。ただしこれまでの技能実習制度の反省を踏まえ、職種毎の受け入れ上限や入国管理を徹底するとともに、医療制度の利用など「生活者」として社会に溶け込めるよう、きめ細かく対応して参ります。これらの政策を確実に進めることにより、「いざなぎ景気」を抜いて、戦後最長と言われる現在の好景気を、出来る限り長持ちさせていかなければなりません。

## 科学技術政策曲がり角

昨年は京都大学特別教授の本庶佑先生が、癌の免疫療法でノーベル生理学・医学賞を受賞しましたが、若かりし頃のユニークな研究成果を展されたものです。またこれまでの歴代受賞者も、三十代後半から四十年代前半の頃の基礎研究が土台となっています。我が国はいま研究成果の応用、すなわち「イノベーション」にはお金をつぎ込んでいますが、基礎研究にはなかなかお金が回りません。

基礎研究における有力な論文発表数も、かつて日本はアメリカに次ぐ多さでしたが、今や中国に抜かれ韓国にも追いつかれる始末です。このままいけば将来日本人のノーベル賞は出なくなる危険性もあります。私は昨年秋から自民党科学技術基本問題小委員長として、日本の基礎研究の立て直しを目指しています。今年も精力的に取り組んで参ります。



## 憲法改正立て直し

私たちの悲願である憲法改正について、昨年は大きな変化がありました。野党との話し合いを重視する「協調派」と言われた私と中谷元・元防衛大臣が、ともに憲法審査会での交渉役から外されたのです。代わりに「強硬派」と言われる方々が交渉役になりましたが、かえって野党の警戒心を煽り、自民党の改憲項目を説明する場が未だ設定できていません。

我々のやり方では遅すぎると安倍総理の目には映ったかも知れませんが、「急がば回れ」との態度で臨むべきだと思えます。そうしなければ改憲原案の発議後に控える国民投票で、思わぬしつべ返しを食らいかねません。また自民党で決めた九条を含んだ改憲項目に拘泥せず、各党の合意が得やすい項目を見つけて出し、改憲に結びつけるというような柔軟な姿勢が求められます。

## 相次ぐ官僚の不祥事

昨年は霞が関の官僚による文書の改ざんや隠蔽など、不祥事が相次いで明らかとなり、官僚に対する国民の信頼が揺らいでしまいました。今年も正月早々、国の基幹統計である「毎月勤労統計」において、全数調査すべきところ抽出調査にしたため、平均給与などの数字が過少評価されてしまいました。この結果、雇用保険給付などの不足が2000万人、800億円に上ることが判明。国内総生産GDPの数字なども信頼性が損なわれかねません。

かつては官僚の世界は「無謬性の原則」と言われて、間違ふことを想定していませんでした。官僚は一流、政治は二流とも言われていましたが、それも崩れかけています。猛省を促すとともに再発防止に取り組まなければなりません。

また構造的な問題としては橋本行革の結果、内閣府の肥大化や厚生労働省の業務の過重負担が、益々酷くなったという背景もあります。内閣府のスリム化と厚生労働省の分割についても、重要な政治課題として取り組まなければなりません。

## はじめのオピニオン

### 食品ロスについて

我が国が一年間に食べられる状態の食品を廃棄している量は、なんと650万トンを超える。この量は日本のコメの生産量に匹敵し、世界の飢餓を救うことが出来る量だとFAO（国連食糧農業機関）が指摘している。「食べられる食品」とは、それを摂取することによって健康に影響を及ぼさない段階の食糧を意味し、「消費期限」に近い概念である。

これを越えて健康に影響を与えかねないものは、食品リサイクル法の範囲に入り、家畜用の飼料などとして流通されることとなる。この度、超党派で「食品ロス削減推進議員連盟」が設立され、「まだ食べられるのに廃棄される食品」を官民挙げて出来る限り削減するための議員立法を、早期に成立させることを目的とした。会長は自民党食育調査会長の山東昭子氏だが、私も消費者問題調査会長の立場で会長代行に就いた。

この活動は国連SDGsが掲げる、持続可能な社会の実現を後押しするとともに、世界の先進国としての責任を果たすことにつながる。また国内的には、子どもたちの貧困が問題視される中、フードバンクに食糧を提供する企業群や、「子ども食堂」への食材提供を行う団体の活動に、勇気と力を与えることとなるのではないかと。

また個人的には、レストランで食事を食べ残した後、家に持ち帰るといふ行為もあるが、それにより健康被害を受けた場合は、基本的に自己責任となる。このあたりの制度の整理も、いざれ考えなければならぬ課題だ。

（『マイオピニオン』30・12・17から抜粋）

# 活動報告



桜地区の敬老会。主催者の社協会長は私の小学校時代の恩師・柏村政先生です。科学技術イノベーション戦略調査会の中に置かれた基本問題小委員会を開き先生の前に緊張して挨拶いたしました。私もあと10年で敬老会に呼ばれます。



科学技術イノベーション戦略調査会の中に置かれた基本問題小委員会を開きました。委員長として戦略強化のための提言をまとめて参ります。



第48回船田元政治大学を今年も盛大に開催することが出来ました。今回はコリア・レポート編集長の辺 真一氏をお招きしました。



宇都宮市の農業祭。昨年は雨に祟られました。今日は素晴らしい秋晴れの下、大勢の親子連れで賑わいました。木工製作の実演や仔牛のふれあいコーナーが人気でした。



毎年千波公園で開催している陽北支部の夕涼みの集いの反省会です。来年に向けて鋭気を養います。



北生涯学習センターの文化祭でした。書道、絵画をはじめ様々な展示があり、染め物も鮮やかに彩られてました。



城山の地区体育祭。秋晴れの絶好の運動日和のもと、地域の絆を固める良い機会となりました。



秋には各地区で秋祭り、収穫祭、文化祭など多彩な催しが開催されます。この日も篠井地区を始め、各地の催し物に参加しました。



毎年恒例の一の沢の餅つき大会。けんちん汁では作新エディブルガーデンで初めて収穫された、20本のダイコンと25玉のハクサイが使われました。一の沢後援会の皆様お疲れ様でした。



食肉事業組合など食肉3団体による、栃木の和牛まつり。小春日和の城址公園はBBQの美味しい煙に包まれました。



宇都宮花房公園にて、花房地区の餅つき大会。年末の餅つきは正月の鏡餅を作る意味がありますが、一年の来し方を振り返る良い機会でもあります。



北関東総合警備保障杯少年柔道選手権大会。子どもたちには将来のオリンピック選手を目指して頑張ってください。



議員会館内で超党派連「食品ロス削減推進議員連盟」の設立総会が開かれました。私も会長代行で参加しました。



恒例の宇都宮市清原地区賀詞交換会に参加させていただきました。今年もたくさんの方々とお会いすることができ、うれしい一日となりました。



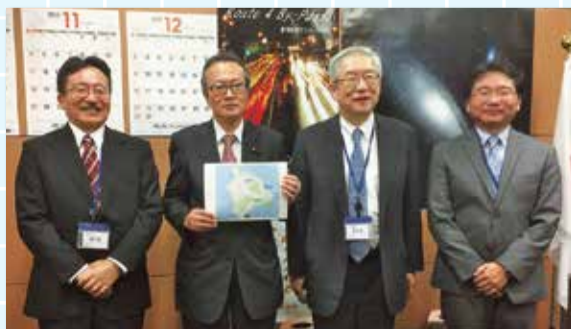
宇都宮に移転している馬事公苑内の天幕馬場をお借りして、私が理事長を務める「障害者のための馬事普及協会」による乗馬訓練が行われました。当日は厚生労働省の内山障害者福祉企画課長さんも視察にお出でいただきました。



栃木県農業会議・農業委員会代表の方々による、国会要請集会が行われました。会議議長で元参議院議員の国井正幸会長はじめ、農地の有効活用や適切な農地転用、担い手農家への土地集約など、皆さんと意見交換をしました。



作新高校同窓会若手によるBBQ大会。寒い一日でしたが美味しい食材で温まりました。特に特大のシャトーブリアンは圧巻でした。



国立天文台の常田台長と、ハワイのすばる望遠鏡の吉田所長らの訪問を受けました。去る6月の地震とハリケーンの襲来により、望遠鏡や周辺機器に故障が生じたため、第二次補正予算でその資金手当をすることになりました。



陽光冬祭りで。どんど焼きの火が勢いよく上がりました。私がいただいた松明の火は、平和の火でした。とても大切な火でした。



国会見学を訪れた宇都宮高校の後輩たちとの意見交換会に参加。鋭い質問に戸惑いつつも、政界の内情や政治信条などをお話しました。

ご質問、募集に関するお問い合わせは「船田はじめ事務所」までお願い致します

【船田はじめ事務所】

●住所 宇都宮市一の沢1-2-6 ●TEL 028-666-8735 ●FAX 028-666-8736  
●URL <http://www.funada.org> ●e-mail [fnd-info@funada.org](mailto:fnd-info@funada.org)